

豊かで 住みよい 町づくり

上勝

VoL.

61

議会だより

2016. 5. 1 発行



2P 臨時議会 定例会

3P 平成28年度 一般会計

4P 平成28年度 特別会計

主な議題

5P 主な質疑・討論

6P 一般質問

7名が町政について質問

13P 視察研修報告

議会の動き

14P まちのようす

平成28年度 一般会計当初予算

6名の賛成で可決

総額 **27億3,200万円**

昨年度、一般会計当初予算は29億4,600万円、今年度は21,400万円の減額となった。主なものは、地域おこし協力隊、29,440千円、美しい集落再生プラン支援補助金19,800千円、老人保護措置扶助費117,024千円、保育所運営委託料80,235千円、福診特別会計繰出金14,657千円、ゼロ・ウェイストブランドを活用した循環型町づくり構想事業21,320千円などがある。

当初予算の様子を家計に例えてみました

収入

収入の種類	収入(円)	構成比(%)	平成28年度の歳入
年収	162,659	4.9	町税
預金取崩し	557,686	16.8	繰入金
雑収入 (パート収入等)	142,741	4.3	使用料・手数料 分担金・負担金 財産収入・諸収入 ・寄附金
前の年の節約	16,598	0.5	繰越金
親からの援助	1,397,536	42.1	地方交付税
	215,772	6.5	国庫支出金
	355,193	10.7	県支出金
	49,794	1.5	地方譲与税
	16,598	0.5	地方消費税 交付金
6,639	0.2	その他の交付金	
新しいローン	398,347	12.0	町債
計	3,319,563	100.0	

支出

支出の種類	支出(円)	構成比(%)	平成28年度の歳出
ローンの返済	458,100	13.8	公債費
家の購入・改築 車の購入など	650,635	19.6	普通建設事業費 災害復旧費
衣食費	557,686	16.8	人件費
自治会費・交際費 同好会費など	295,441	8.9	補助費等
子どもへの仕送り	232,369	7.0	繰出金
電気・水道・ 消耗品など	750,221	22.6	物件費
教育費・医療費	272,204	8.2	扶助費
預金	53,113	1.6	積立金
家、車などの修繕費	36,515	1.1	維持補修費
生命・損害保険 など	3,320	0.1	投資及び出資 金・貸付金
急な支出に備えて 準備	9,959	0.3	予備費
計	3,319,563	100.0	

年収の額は、町の28年度当初予算額を町の世帯数で割算したもの

28年度当初予算額 27億3,200万円
世帯数 823世帯(H28.4.1)
年収の額 3,319,563円

財産取得

上勝町東簡易水道の取水口を有する森林流域の保全及び適正管理のため

取得面積(公簿面積)

42 ha (9名)

取得全額

17,716千円

全員異議なく可決

明本議員 取水口が少し下流だと流域面積が広がるが水質が悪いのか。
答 城ヶ太尾用水の取水口を一緒に取水しており下流で取水する検討はしていない。

渡部議員 水量減少の原因は何か。又、購入後の管理内容を詳しく示せ。
答 2年前の夏に干ばつで取水管が露出したが現在は足りている。心配されるのは全伐等であり、乱開発から護る目的だ。

鹿島議員 単価決定の根拠は。
答 土地については7・6円/m²、立木については森林組合の見積もり。

【質疑・答弁等】

第2回 臨時議会

開 会 期
会 期
平 成 28 年 2 月 17 日

一般会計

補正 **17,680千円減額**
総額 **3,389,804千円**

主なもの

- 彩山を活用した産業振興事業 **28,834千円**
- ゼロ・ウェイストブランドを活用した循環型まちづくり事業 **20,551千円**

特別会計(国民健康保険)

事業勘定 **24,756千円減額**
診療施設勘定 **1,224千円追加**
福原診療所施設勘定 **2,028千円追加**

補正予算
平成27年度一般会計補正予算(第4号)
5名の賛成で可決
平成27年度特別会計補正予算(第1・2・3号)
全員異議なく可決

第3回 定例会

開 会 期
会 期
平 成 28 年 3 月 22 日
平 成 28 年 3 月 9 日

平成28年度 特別会計予算

全員異議なく可決

総額 8億7,482万円

● 国民健康保険	2億7,800万円	● いっきゅう地区簡易水道	1,184万円
● 介護保険	3億6,000万円	● 奨学資金	324万円
● 上勝診療所	1億 万円	● 後期高齢者医療	4,300万円
● 福原診療所	2,600万円	● 高鉾財産区	85万円
● 上勝町東地区簡易水道	3,509万円	● 福原財産区	80万円
● 上勝町西地区簡易水道	1,600万円		

主な議題

条例改正

行政不服審査会条例の制定
全員異議なく可決

定年前に退職する意志を有する職員の募集及び認定に関する条例の制定
全員異議なく可決

職員勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
全員異議なく可決

議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例等の一部を改正する条例
全員異議なく可決

職員給与に関する条例の一部を改正する条例
全員異議なく可決

税条例の一部を改正する条例
全員異議なく可決

固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例
全員異議なく可決

単独住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
全員異議なく可決

計画の策定

過疎地域自立促進計画の策定
全員異議なく可決

指定管理者の指定

町の施設（上勝町滞在型農林業体験実習拠点施設等）の指定管理者の指定
全員異議なく可決

町道の認定

町道路線の認定
 ・ 上寺内線
 ・ 作り道線
全員異議なく可決

発議

国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める意見書
4対3で可決

さらなる年金削減の仕組み「マクロ経済のスライド」の廃止を求める意見書
4対3で可決

請願

ケーブルテレビと情報通信施設の公平な利用料金を求める請願
3対4で不採択

主な質疑・討論

上勝町行政不服審査会条例の制定

明本議員 何らかの基準を持って人選をしているのか。

花本町長 個人情報保護審査会の委員を予定。

渡部議員 町長が委嘱するより議長が委嘱するのが良くないか。

花本町長 条例は町長が委嘱するようになっていく。

定年前に退職する意思を有する職員の募集及び認定に関する条例の制定

明本議員 なぜこの条例の制定が必要になったのか。

横山総務課長 勸奨退職制度が廃止となったため。

上勝町単独住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

片山議員 上寺内住宅2つの住宅各何室と何名収容できるのか。

中原建設課長 2DK 2戸と、45〜6畳の8部屋備は。

片山議員 各部屋の設備は。

中原建設課長 世帯棟にはトイレ・バス付き、単身棟については、大きなお風呂1つと、各部にシャワー室を用意してある。

明本議員 インターネット・テレビの初期費用の負担は誰がするのか。

中原建設課長 町が負担をする。

渡部議員 入居者に関して近隣の方に相談するのか。また入居後には周知するのか。

花本町長 周知することはないが、募集が多くなる抽選や選考になった場合

過去には近隣の意見を聞く事もあった。

平成27年度一般会計補正予算質疑

明本議員 第三セクターに対する減免する使用料の全額を個別に。

吉積産業課長 月ヶ谷温泉交流施設使用料1,179万円、上勝パイオの使用料100万円、木材出荷調整施設（もくさん）使用料87万円、土場使用料192万円を減免。

渡部議員 介護ロボット等導入支援のロボットはどんなのか。

峯下住民課長 背負った腰の負担を軽減する機械

討論

反対 **明本議員** 第三セクターに対する財産貸付金の全額免除は容認できない。

賛成 **片山議員**

第三セクターも頑張りながら運営している。少しの黒字が出たが全額もらうと運営等に支障をきたす。

反対 **渡部議員** もっと真剣に取り組み、はじめをつけるべき。

一般会計予算主な質疑

明本議員 IRUによる貸し付け財産内訳がわからない。

横山総務課長 議会に提出する。

岩本議員 集会所修繕費60万円はどこをやるのか。

横山総務課長 1か所は要望に基づく箇所、あと2か所は未定だ。

渡部議員 放課後子供教室講師予算について。

立川教育長 小学生を対象にした計画だ。宿題など、学習習慣をつける

ことで保護者等と検討している。

岡本議員 集落支援員55人と専任教員2人はどのように選任されたか。

多田企画環境課長 専任の方は町長が直接している。地域の55人の方は地区総代から推薦によっている。

片山議員 電源立地の450万円の予算について教えてもらいたい。また、備品購入費の送迎車とは何か。高鉾公民館のエレベータ補修費次年度からいくらかかるか。

中原建設課長 電源立地交付金は、県道からの分岐箇所の舗装修理ほかに充てる。

吉積産業課長 備品は月ヶ谷温泉の送迎車10人乗りを432万円。

吉積教育委員会事務局長 エレベータ点検補修費は基本料金として今年と同じ11万8千円と考えている。



明本 恵一 議員

産業政策の転換と住民生活 明本

バイオ累積赤字 どうする

問 上勝バイオの抜本改善策を問う。

答 花本町長

雑菌対策は袋縫へ。黒ずみ対策は浸水方式へ。集中発生は袋内培養。新菌種の採用も実施する。

問 それが抜本策か。今までと同じトラブルの循環だ。中長期の赤字解消策を示せ。

答 花本町長

28年度750万円、29年度1,000万円黒字の計

画だ。以降は結果を見て計画する。

問 やめたい社長は交代させよ。

答 花本町長

後継者が出来なかった。最重要政策課題でやる。

問 今後、資本的支援はさせない決議だ。

答 花本町長

真摯に受け止めている。減資は今のところ考えていない。

ケーブルテレビ 弱者に負担

問 CATV・ネットの設備更新、具体的効果は。

答 花本町長

上勝町780世帯が加入し、安定利用を頂いている事だ。

問 サービス会社が変わった。利用申し込みと契約書はいつ出てくるのか。

答 横山総務課長

IRU契約、保守、運営全般についてはケーブルTV徳島とNTTビジネスが協議し、住民にとって煩わしい手続きを省いた。料金回収事務も従来通りNTTが通帳引落しする。

問 IRU契約に利用料金を書き込むのは誤りだ。いつ議会に示すのか。

答 横山総務課長

工事が未完了、工事金額が決まり次第示す。

答 花本町長

契約事項なので、諸事情を検討し、どう記入するか考える。

国保税の引き下げはいつ

問 集めすぎ国保税の引き下げ、いつ実施するのか。

答 花本町長

給付が減少した。基準所得が決まる6月に検討、審議会にかけ議会にはかかる。

小水力発電とバイオマス発電

問 小水力の実用発電開始、バイオマス発電の開始は収益が上がる。事業化すべきだ。

答 多田企画環境課長

水利権、売電設備、河川占用許可など問題が山積する。実用化は困難。バイオマスは燃料木材の供給が不足し無理。



町内に豊富な水力資源

現地調査、視察等も含め16回の協議説明会を行っている。要望や懸念等を賜った上で誠心誠意対応を行ったつもりである。

44立方メートルであったが、その後協議して25万6立方メートルに約4割の削減ができた。

電線等にかかる支障木問題

問 電話、電気、光ファイバーの線に多くの木及び枝がかかっている。高齢化の問題もあり急峻な場所では個人が対応出来ない。対策は。

答 横山総務課長

光ファイバーの線についてはケーブルテレビ徳島が保守の範囲内で対応してくれる。四国電力、NTT回線については役場に連絡いただければ対応する。

風力発電について

問 一部地元で強い反対があるがエナジーはどのような説明をされたのか。

答 多田企画環境課長

環境影響評価準備書については、環境保全の見地から町民等が事業者にたいして的確に文書で意見提出できる機会が平成27年8月24日までに設けられていたが、鳥獣営巣調査の手法に疑問を持たれているなどの意見の提出などはなかった。瀬津名には同意を得ており、一部反対住民に対して合意醸成を目的とした全体への説明の場を設ける予定はない。風車用地の交渉結果を反映して設置基数を17基から15基に2基減らすことになった。大北地区、瀬津名には

問 残土処理の問題は全て解決したのか。

答 多田企画環境課長

全面解決したとは思っていない。当初の発生土量削減を事業者に指示しており改善が図られている。平成26年には土量が

ラジオ体操普及運動についても質問した。



岩本文昭 議員

マイナンバー制度について

問 通知カードが送付され申請後どのくらいの日数でマイナンバーに交換できるのか。

答 峯下住民課長

平成27年10月26日から簡易書留で通知カードの配達が始まり早い方は11月上旬から申請されている

74名が取得済である

町長

町内でのマイナンバー受取者は

岩本

る。現状では最低でも2〜3カ月位必要と推測される。交換通知が遅い場合は役場住民課に問い合わせをお願いしたい。

問 受け取り拒否された方はいくらか。

答 峯下住民課長

現在通知カードの残数は3通となっている。理由は長期入院とかであり

問 谷口地区に公営住宅の建築を求める強い要望がある。

答 中原建設課長

谷口地区は本町の中心から少し離れている事もあり地理的条件を検討する必要はある。土砂災害関係の区域の問題もあり現時点で具体的な話には至っていない。敷地造成



星場 眞人 議員

星場 建設課長

防犯・街路灯の一元化を

当面は地元で

問 蛍光管の製造中止により街路灯のLED化に向けて制度改正が必要でないか。

答 中原建設課長

故障した照明機器からLED化しているが、1基に4万円程必要で予算確保が難しい。危険な球の交換作業等の一元化については、特に危険な高所等は町が対応する。当面は地元で対応されたい。

問 高齢者が作業中に転落事故等があれば、保険等の責任問題は。

答 花本町長

以前からの課題で、消防団員が管理する防犯灯

でも事故は消防保険の業務には該当せず自己責任である。地域で管理する場合も事故には細心の注意をお願いしたい。

公共施設の日照権を守れ

今後、調査検討する

問 中学校周辺を蔭切りして教育施設の環境を整備せよ。

答 吉積教育委員会事務局長

中学校は三方を山で囲まれ、特に冬場は日当たりが悪いのは周知の事実だ。樹木が育って日照時間が少ないか、蔭切りでは間に合わない状況なのか。調査結果を見て今後順次検討して参りたい。

問 傍示住宅の蔭切りは町の指定単価で買収交渉して破談したが、彩山の計画地は十数倍の価格で購入している。

再調査については、ユラスに伝えておくが、それができなかつたら反対ということではない。

風車建設 地元、雄中面が反対している 渡部

瀬津名が地元、同意している 町長

問 ユラス社の風車建設要望に対する町長の回答は。

答 花本町長

地元同意が得られたら同意する。また、各種法令規定に従うこと。建設残土量を減らすよう指示している。

問 3キロ圏内の雄中面は反対している。騒音調査、動物の営業調査が不誠実に行われたのでやり直しを求めている。

答 花本町長

瀬津名は同意をしている。地元の捉え方が違う。

彩山と橋が景観を破壊

彩山で観光と産業が合体／町長

問 彩山の管理計画ほどの程度決まったか。

答 多田企画環境課長

管理計画の前に開発計画が必要。開発計画が描ける頃に管理計画も決定していく。



四方が山林に囲まれた中学校

答 花本町長

傍示の場合は標準の評価額で、流川山林だと更に安い価格だ。それでも徳島県下では最も高い価格で提示している。彩山は県道隣接地ということも一段と高くなった。

問 若い職員や町外から来られた職員が多いので、職員の研修機会を、広報配布から始めたい

答 花本町長

資質の低下が心配だ。早期に職員研修の機会を作ってはどうか。

答 花本町長

前に1Q運動会等として職員研修を行ったが、すでに受講者は課長補佐クラスから上になった。職員の資質面での課題には、広報の配布等で地域を知る機会を作ることから取り組みたい。地域に出ることで方言にも慣れらると期待する。

城ヶ太尾に作業道を

危険な場所で難しい

問 東簡易水道が止まると町内の半数の主婦が困る。先日も城ヶ太尾用水敷で徹夜の工事があり、車が使えず肩の上で荷運びをしたと聞く。作業の安全を期して車道を開設してはどうか。

答 中原建設課長

応急工事に道路は欲しいが、指摘の通り急峻で危険であり幅員確保が難しく、経費のわりに経済効果が期待できない。小型作業車用への改良が限度だろう。

他に『空家バンクの活用は』『買物難民を解消するため移動販売を支援せよ』『交通弱者に優遇税制を』『徳島く安芸の国道昇格』について質問した。



キャンプ場下流の風景

答 花本町長

観光客がいろいろ産業を見るには温泉周辺が一番良い。観光と産業を合わせた彩山で、インターンが農業、いろどり栽培の基本まで学べるようにと考えている。

問 温泉、キャンプ場間に予定の橋はどんな人が渡る見込みか。

答 多田企画環境課長

温泉利用客7万人、キャンプ場利用者3,000人、その他来町者2,000人、それに彩山関係者。

問 連絡橋は今の位置では谷を一直線に切ってしまう景観をこわす。温泉までの距離も長い。架橋の場所を再考してほしい。地元とは話をしたのか。

答 多田企画環境課長

観光協会と地元の若い事業者達と一緒に協議の場を持った。温泉には地権者との交渉の時に協議をした。

その他、くみあいマーケット跡地の計画、町内の広報システムについても質問した。



渡部 厚子 議員



岡本 明 議員

岡本

企画環境課長

新ゴミステーション計画は必要なのか

町民・現場での情報収集により計画ができた

問 2040年には住民が900人を下回ろうとしている中、多額な費用をかけた巨大な新ゴミステーション計画は必要なのか。

答 多田企画環境課長

町民への還元と要望として、公園的なもの・町民が触れ合え子供が少し滞在できる・いろんなメリットを生かした施設整備を町民・現場での情報収集により再生計画ができた。暮らしやすいまちづくりのために進めていきたい。

問 新しいゴミステーションは、何年から工事に入り何年から使用できるのか。

答 多田企画環境課長

不可能ではないが、これまでの基本的な計画事務の予算計上、委託、調査等の費用を資している。

問 県道を前に新設をし山側にゴミステーションを建てると施設がまとまり時間の短縮や交通事故の予防にもなり多くのメリットがあるのでは。

答 多田企画環境課長

工事期間中の仮設場所として、株もくさんの一部敷地及び旧の県道敷地を利用し現在の機能を持った仮設場所を設置したいと考えている。

問 建設中ゴミはどこで集めるのか。

答 多田企画環境課長

徳島中央森林組合上勝共販所の移転が平成28年度に完了できた場合、平成29年度から平成30年度にかけて工事が必要であり、平成30年度からの使用開始と考えている。



新ゴミステーション予定地

問 森林組合の移転先での使用料はもうどのくらいか。

答 吉積産業課長

移転先の面積や規模の他事務所、倉庫の分も含め金額を出す。今の段階では未定であるが、使用料はいただく。

問 上勝町地域創生総合戦略の中で「林業従事者を5人増、林業技術者を育成する」とあるが、その方法は。

答 吉積産業課長

基本的には公募で募集したい。また徳島林業アカデミーの卒業生、県、森林組合と林業組織等々と連絡、連携しながら確保していきたい。

その他、高校生まで医療費無料化、通学支援、各種住宅の家賃引き下げについても質問した。

問 町内に分譲地を作れないか。

答 花本町長

過去にも何回か上勝町でも計画をし、多くの先

今から基本をさかのぼって見直す事は適切ではない。

問 路面の白線が消えている箇所について、安全・安心のために引き直しを実施しては。

答 中原建設課長

進地も視察をしてきたが、売れ残りがあり、その場合莫大な投資をしても回収ができず管理費が必要になり難しい感がある。ただ、検討する課題ではある。

株上勝バイオは閉鎖を考える時期ではないか

片山

問題解決を十分検討した後に閉鎖等検討すべき

産業課長

株上勝バイオの赤字対策は

問 株上勝バイオは、先般資金投入をしてから、赤字からの脱却が出来ていない。

答 吉積産業課長

経営者、従業員に危機感が見受けられない。雇用にはかなり目が行き、経過が見えていない。この際閉鎖を考えるべきでないか。

経営者、従業員に危機感が見受けられない。雇用にはかなり目が行き、経過が見えていない。

換を図りたい。借入金の繰上償還、補助金の一部返還が想定されること、規模が大きければ損失も多く、また人員が多ければ、目の届かない社員も出て来る。今後身の丈にあつた経営規模縮小を考えては。

問 借入金の繰上償還、補助金の一部返還が想定されること、規模が大きければ損失も多く、また人員が多ければ、目の届かない社員も出て来る。今後身の丈にあつた経営規模縮小を考えては。

答 花本町長

社長の交代等も含めて、存続する、廃止することも含めて、今後しっかりと検討していきたい。

問 町民の安心・安全な生活の確保は

答 花本町長

町管理以外の地元が雑草、支障木等の草刈・伐採に補助金を支給しては。

集落再生事業の実施状況は

問 当初からの年度別件数・事業費は。



消えた白線

答 多田企画環境課長

平成22年度29件918万円、平成23年度18件462万円、平成24年度21件517万3千円、平成25年度25件384万9千円、平成26年度27件1,023万7千円、平成27年度24件1,153万4千円です。

問 6年間で144件と、非常に多くの地域が活用して集落再生に取り組んで

答 花本町長

いる現状が見受けられる。平成28年度は、予算が組まれていたが今年度以降の事業存続はして頂けるのか。

答 花本町長

3年スパンで事業を実施している。今年度は3期日の初年度に当たるので、3年間は実施したいと思っている。



片山 文昭 議員



鹿島 國男 議員

鹿島

教育長

中学校の部活動は

勝浦中学校と合同で

問 中学校のクラブ活動にしたい部がないので、転校していたが、4月から勝浦中学校と一緒にできると聞いたが。

答 立川教育長 クラブというのは、自主参加であり対外試合、その中で競技団体、中学校体育連盟があり、各校に合同チームをつくる場合には、部活がなければいけない。それから校長が認めたものという規定がある。上勝中学校には、卓球部、バドミントン部、音楽部がある。新たに、野球部と女子バレー部を新

設し勝浦中学校と合同チームをつくる事になった。練習は主に勝浦中学校で行い、スクールバスと町営バス、保護者により対応したい。

今冬のインフルエンザは

問 小中学校の状況はどうか。

答 立川教育長 今年は、A型が流行している。上勝小学校では2月に15名、3月に1名、中学校では2月に1名、3月に4名の発病があった。今は収束している。

問 対策は。

答 立川教育長 生活指導の中で、手洗い、うがい、マスクの着用、十分な睡眠を取り規則正しく。



町界にある風力発電機

風力発電建設しても東簡易水道は大丈夫か

問 風力発電施設が15基できる予定になっているが東簡易水道の水が枯れた時の保証は、ユースエナジーがしてくれるのか。

答 花本町長 非常に重大な質問と思うが現在の調査、科学的な見地の中では減らないとのことである。多分ユースエナジーでも補償はできないかと思っている。濁りは当然上を開発するので、濁対策は、万全を期すようお願いしている。山の管理も必要と思いい、財産区以外の反対側の山の7割を買収した。今後手入れをし水を守っていきたい。

スタチの加工を全量買って

問 昨年スタチの加工に出荷制限があり全量売れなかった。なんとかしてほしいと農家の人から話があったが。

答 吉積産業課長 昨年は3年間の実績で70%とした。JAも憚いどりも売れるように努力している。町も応援し

椎茸産業視察報告

佐那河内村・小松島市・上勝町

平成28年2月8日

一、産業建設常任委員会は佐那河内村と小松島市榑瀨町の茸生産者と町内上横峰の酒井ハウスを視察研修した。
二、一行は、産建委員（明本、渡部、鹿島、星場）に産建課長吉積、議会事務局局長井本であった。

三、目的は、周辺の椎茸農家の経営が成り立っているのに、三セク上勝バイオが何故連続赤字で回復できないのか、原因を探るためであった。

四、視察先は、

- 佐那河内村（岡本昌幸氏）
- 榑瀨町（サンマツシユ榑瀨協同組合）
- 上勝町上横峰（酒井ハウス）

五、各業者に共通して優れた特徴。

■ 菌床ホダ作りから栽培まで、研究熱心な技術者が責任を持って見守り、きめ細かなケアをしている事。



岡本氏の説明をきく

■ 栽培の結果を、直ちに次のホダ作り にフィードバックし、改善できる体制にある事。

■ 季節によって、生産調整が出来る事。

■ 研究熱心で技術の蓄積が豊富な事。

■ 視察先業者に、共通して言われた事は、「今、椎茸産業をやっていて赤字とは信じられない」という事でありました。

議会の動き

2月

- 3日 議会全員協議会
- 8日 産業建設常任委員会視察研修（佐那河内村、小松島市、上勝町）
- 9日 勝名地区町村議会議員研修会（石井町）
- 17日 議会全員協議会
- 17日 第2回臨時議会
- 26日 議会全員協議会

3月

- 1日 勝名地区町村議会議長会総会（徳島市）
- 1日 徳島県町村議会議長会総会（徳島市）
- 3日 議会運営委員会
- 4日 議会全員協議会
- 9日 第3回定例議会 第1日（開会）
- 10日 議会全員協議会
- 11日 産業建設常任委員会
- 16日 第3回定例議会 第2日
- 18日 第3回定例議会 第3日（閉会）
- 29日 徳島県町村議会議員研修会（石井町）

1月

- 5日 議会全員協議会
- 8日 第1回臨時議会
- 13日 議会広報調査特別委員会（議会だより編集）
- 19日 議会広報調査特別委員会（議会だより編集）
- 20日 産業建設常任委員会
- 22日 議会広報調査特別委員会（議会だより編集）
- 25日 議会広報調査特別委員会（議会だより編集）

まちのようす



彩公園のさくら（正木地区）



老人クラブによる奉仕活動（傍示地区）



キャンプ場の鳥の巣箱（福原地区）



蔭井谷のしだれ桜（傍示地区）



鮎の放流（旭川）



敬老会（旭地区）

編集後記

目に青葉

山ホトトギス 初鯉

既に季節は初夏、初セミの鳴き声が聞かれるようになりました。葉桜時に皆様のお手元へ満開の桜を届けます。

私たちの編集も2回目となり、少し慣れたものの3月議会は当初予算と新年度計画が膨大なデータ量で、更に皆様の関心ごと「一般質問」は文字数調整に苦労しました。今後も、充実した広報となるよう努めますので、お気付きのこと等、ご意見をお聞かせください。

（星場）

